



監督署だより

瀬峰労働基準監督署

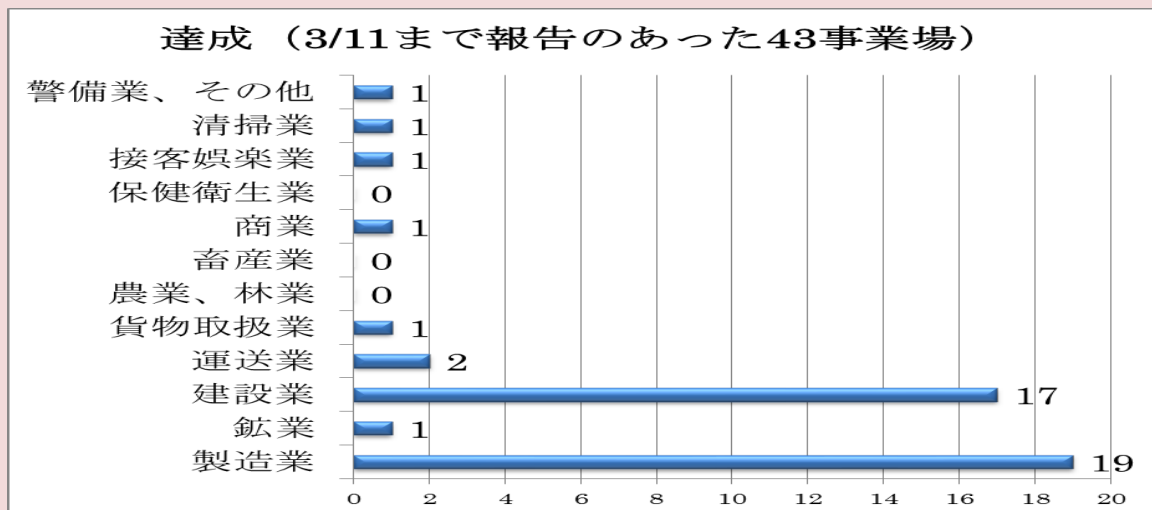
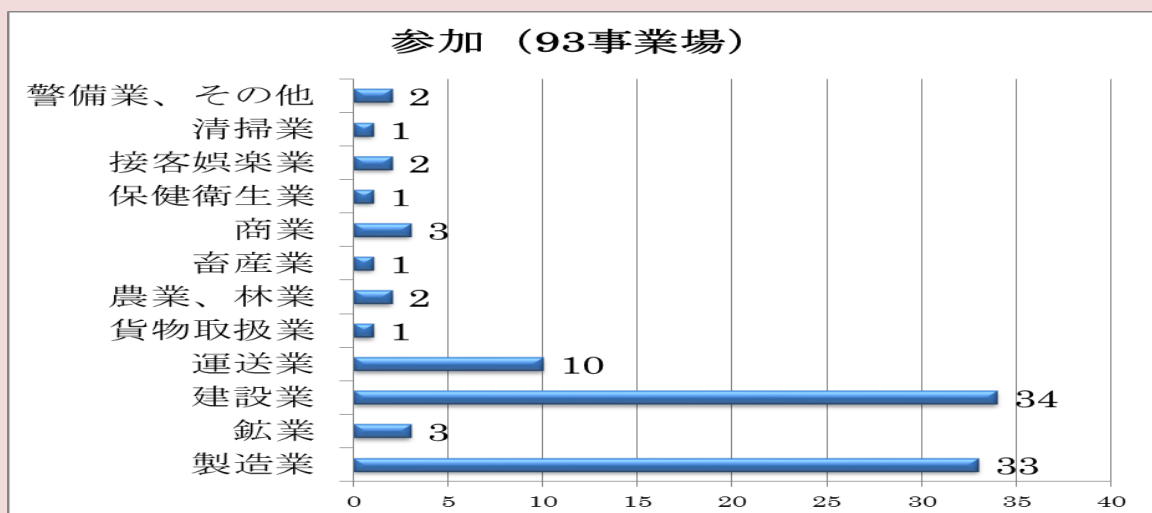
瀬峰監督署版「ゼロ災トライアル100」達成報告届く

平成 28 年 11 月 21 日から平成 29 年 2 月 28 日までの期間で 100 日間のゼロ災を目標に、瀬峰労働基準監督署が提唱し、管内の事業場が参加する形で取り組んできました。

年末年始及び年度末にさしかかって慌ただしくなり、また、凍結による転倒災害などが起きやすく労働災害が多発傾向にあるこの時期において、業種を超えて横断的な展開を図りました。

参加した事業場からは達成報告と併せて期間中の取り組み状況を多数いただきました。

トライアル期間中に取り組まれたそれぞれの事業場における日常の安全衛生管理活動の見直しと効果のある災害防止対策の定着が図られることを期待します。



達成事業場の紹介やゼロ災トライアル 100 についてのアンケート結果等は別途「特集号」により、お知らせいたします。

第12次労働災害防止5ヶ年計画進捗状況

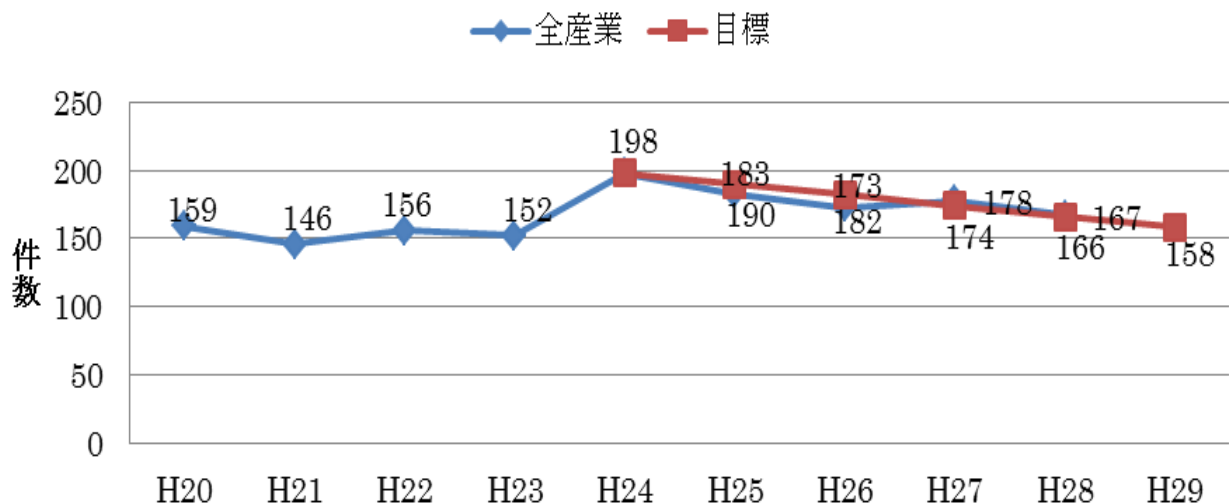
この計画は、「誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するために」を掲げ、平成25年から平成29年までの5ヶ年にわたり、労働災害をなくしていこうと厚生労働省が提唱し、宮城労働局、瀬峰労働基準監督署が関係機関の協力を得て取り組んでいるものです。

労働災害は一向になくならず、死亡災害などの重篤災害、職業性疾病などが依然と発生しております。そうした中、5ヶ年計画で掲げる目標のうち、瀬峰労働基準監督署として数値で示している労働災害の発生件数の減少について、平成24年の労働災害件数（198件）に対し平成29年までに20%以上減らすこと、1件以上死亡災害を減らすことがあげられています。

5ヶ年計画の4年目となる平成28年の労働災害は死亡2件を含み、167件（速報値）発生しており、単年目標である166件を超えてしまいました。特に増加している業種は食料品製造業（+8件、+80%）、建設業（+11件、+36.7%）、社会福祉施設（+5件、+26.3%）です。

最終年となる平成29年では、2月末時点で前年比5件増となる26件が発生しており、目標数値以内とするべく取組強化の必要性が極めて高い状況といえます。

瀬峰署第12次労働災害防止推進計画目標



平成28年（速報値）主要業種別（前年との同期比）

